

2026年5月期 決算説明会

(注) 中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度との比較分析にあたっては暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。



<https://www.nakakita-s.co.jp>

2026年8月5日（水） 大阪

2026年5月期 決算説明会

Moving forward

- I. 会社概要
- II. 2026年5月期 実績
- III. 2027年5月期 見通し
- IV. 今後の展望
- V. コーポレートデータ

I. 会社概要



1. 会社概要

Moving forward

会社名	株式会社中北製作所
代表者	代表取締役社長 宮田彰久
創業	1930年5月28日
資本金	1,150百万円
株式公開	東京証券取引所スタンダード市場
拠点	大阪本社・工場（最寄駅：JR住道駅）、 東京営業所、北九州営業所 韓国：ACE VALVE CO., LTD. ：NAKAKITA KOREA CO., LTD. 中国：中北（無錫）工業科技有限公司
事業内容	バルブおよび遠隔操作装置の製造販売
売上高	29,254百万円（2026年5月期）



大阪本社・工場



代表取締役社長 宮田彰久

2. グループ拠点およびサービス網等

Moving forward

- 国内3拠点・海外3拠点、また製品を熟知したサービススタッフや代理店で国内外の中北ネットワークを構築し事業活動
- 納入実績のデータベース化で長く安心して製品をご使用いただける体制を確立

● 国内拠点

大阪本社・工場、東京営業所、北九州営業所



● アフターサービス拠点



● 海外拠点

[韓国]ACE VALVE CO., LTD.
(連結子会社)

NAKAKITA KOREA CO., LTD.
(連結子会社)



● 海外拠点

[中国]中北（無錫）工業科技有限公司
(現地法人)



● 海外代理店

[オランダ/ヨーロッパの全域] Ravebo
[中国] Health Lead Development Ltd.



3. 事業内容

Moving forward

- 1930年の創業以来、船舶・発電・製鉄・化学プラント等向けバルブを中心とした**流体制御システム**を提供

2026年5月期 売上高 29,254百万円

船 用
70.1%



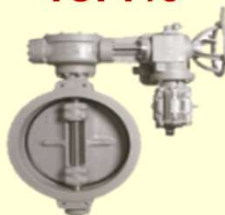
陸 用
29.9%



遠隔操作装置
20.3%



バタフライ弁
46.4%



自動調節弁
33.3%



4-1. 主な製品ラインアップの例（船用）

Moving forward

カーゴ/バラスト 弁遠隔操作システム

油空圧機器

油圧発生装置



油圧ポンプユニット ハンドポンプ エアークティングピストンポンプユニット

油圧方向切替弁



電磁弁盤 コントロールユニット
(手動遠隔操作)



電磁弁箱

電気機器

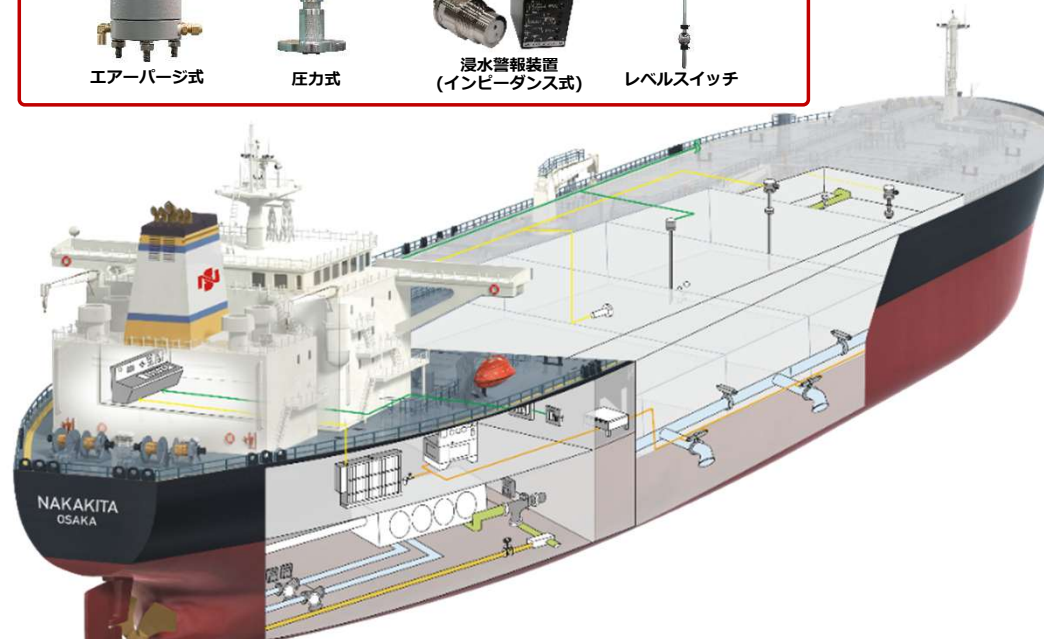


コンベンショナル式 コンピュータ式

液位計測システム



エアバージ式 圧力式 浸水警報装置
(インピーダンス式) レベルスイッチ



バタフライ弁



手動式 電動式
油圧式 空気式

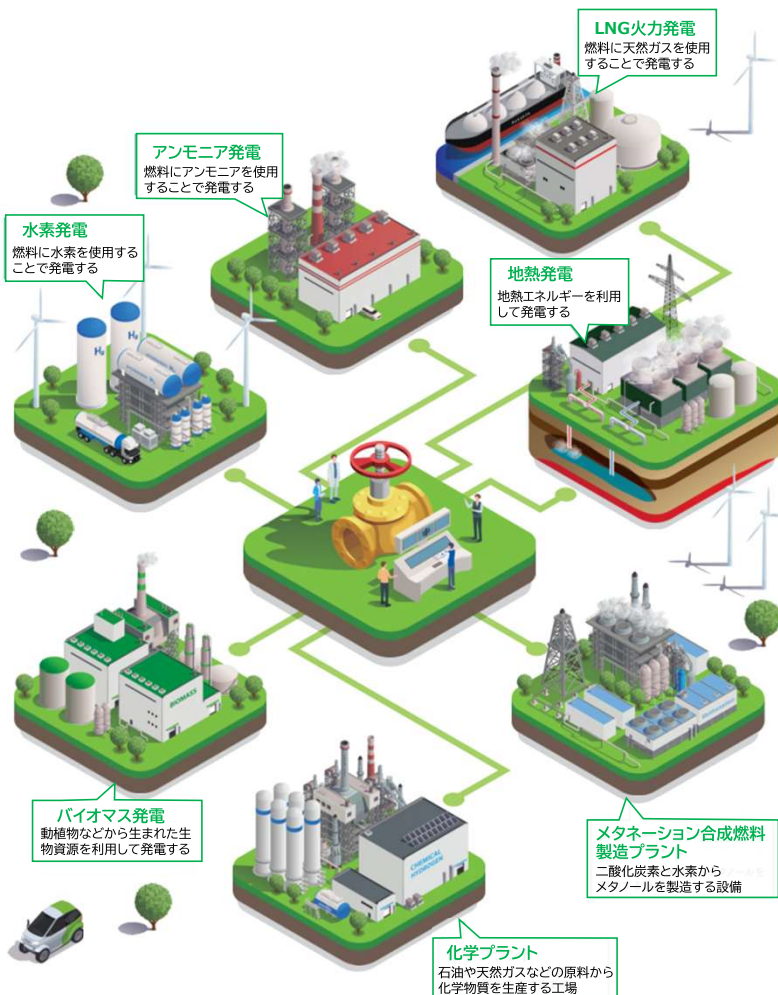
自動制御機器(機関室・ポンプルーム)



圧カトランスミッタ 調節計 粘度発信器
(細管式) 粘度発信器
(振動式) ロータリー式
調節弁(電気式) ダイアフラム式
調節弁

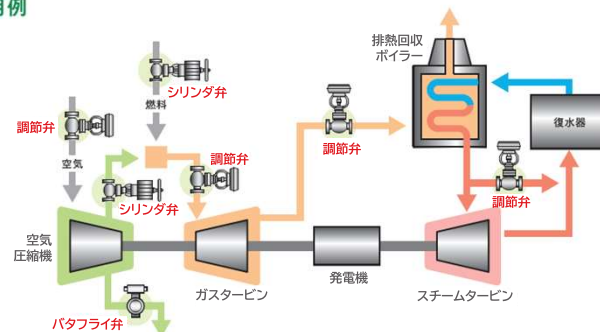
4-2. 主な製品ラインアップの例（陸用）

Moving forward



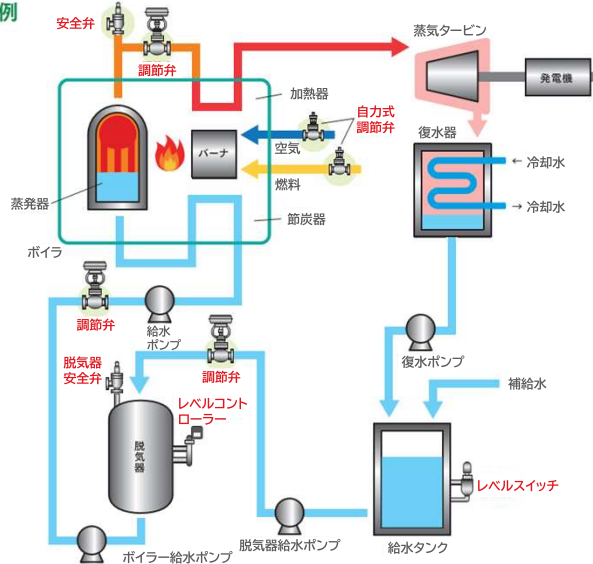
コンバインドサイクル

使用例



ボイラー、蒸気タービンなど

使用例



調節弁



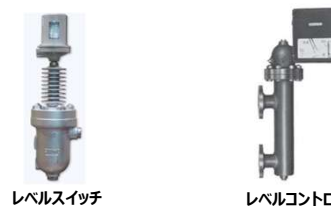
バタフライ弁およびシリンダ弁



安全弁



レベルスイッチおよびレベルコントローラー



5. 品質保証

Moving forward

- 顧客満足度を得るため、品質管理の仕組みや体制作りを行い、顧客に安心と信頼を提供
- 顧客ニーズ・期待・要求に製品が適合しているか各部門のプロセス・システムを管理し、品質を保証

Safety **安全**な環境 **C**ost 適切な**価**格
Quality 欠陥のない**品**質 **D**elivery **納**期通りの供給

認 証

認証機関（LRQA）による**ISO9001**認証

認証機関（LRQA）による**CE/UKCAマーキング・PED/PER（圧力機器指令/規則）**認証

高圧ガス設備製造の大臣認定試験者の認定

韓国ガス安全公社（KGS）より安全弁の製造の登録証明書取得

韓国産業安全衛生公団（KOSHA）による安全弁の**KCsマーク**認証

米国機械学会（ASME）による安全弁**V、UVスタンプ**認証



Ⅱ. 2026年5月期 実績



1. 概要

Moving forward

単位：百万円、%、円

	25/5 (連結)	26/5 (連結)	前年同期比		26/5 (連結) 計画※	計画比	
			増減	同率		増減	同率
売上高	23,768	29,254	5,486	23.1	27,000	2,254	8.3
営業利益	1,157	1,561	404	34.9	1,100	461	41.9
経常利益	1,448	2,265	817	56.5	1,800	465	25.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,730	1,724	▲5	▲0.3	1,230	494	40.2
1株当たり当期純利益	490.83	494.10			352.34		
1株当たり配当金	100.00	110.00			110.00		
総資産	36,452	39,736					
純資産	25,456	28,102					

※2025年7月8日付にて適時開示済みの2026年5月期通期連結業績予想

- 次世代燃料船を含む新造船需要の改善、発電プラント等陸用関連需要の増加等により、売上高および利益面についても計画を上回った

2. 生産・受注・受注残の推移

Moving forward

単位：百万円、%

生産高	25/5 (連結)	26/5 (連結)	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	8,772	9,772	999	11.4
バタフライ弁	9,584	14,389	4,804	50.1
遠隔操作装置	5,345	5,983	638	11.9
生産高合計	23,702	30,144	6,442	27.2

受注高	25/5 (連結)	26/5 (連結)	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	10,942	8,966	▲1,975	▲18.1
バタフライ弁	11,574	16,797	5,222	45.1
遠隔操作装置	6,928	6,300	▲628	▲9.1
受注高合計	29,445	32,063	2,618	8.9

受注残	25/5 (連結)	26/5 (連結)	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	7,708	6,937	▲770	▲10.0
バタフライ弁	11,538	14,867	3,329	28.9
遠隔操作装置	5,281	5,638	357	6.8
受注残合計	24,527	27,443	2,916	11.9

■ 生産高（前年同期比27.2%の増）

生産高は、自動調節弁が前年同期比11.4%、バタフライ弁は同50.1%、遠隔操作装置も同11.9%の増加となり、全体では同27.2%の増加となった

■ 受注高（同8.9%の増）

受注高は、次世代燃料船を含む新造船需要の改善、発電プラント等陸用関連需要により堅調に推移した結果、バタフライ弁は前年同期比45.1%増加したものの、自動調節弁は同18.1%、遠隔操作装置も同9.1%の減少となり、全体では同8.9%の増加となった

■ 受注残（同11.9%の増）

受注残高は、前年同期比11.9%の増加となった

3. 部門別売上高

Moving forward

単位：百万円、%

	25/5 (連結)	26/5 (連結)	増減	同率	構成比
自動調節弁	8,648	9,736	1,088	12.6	33.3
バタフライ弁	9,854	13,574	3,719	37.7	46.4
遠隔操作装置	5,264	5,943	678	12.9	20.3
合計	23,768	29,254	5,486	23.1	100.0

単位：百万円、%

	25/5 (連結)	構成比	26/5 (連結)	増減	同率	構成比
陸用	8,302	34.9	8,740	438	5.3	29.9
船用	15,465	65.1	20,513	5,048	32.6	70.1
合計	23,768	100.0	29,254	5,486	23.1	100.0

- 売上高は、自動調節弁が前年同期比12.6%、バタフライ弁は同37.7%、遠隔操作装置も同12.9%の増加となり、全体では同23.1%増加となった
- 前年同期に比べ、陸用は438百万円増加（前年同期比5.3%増）、船用は5,048百万円増加（同32.6%増）となり、全体では5,486百万円増加（同23.1%増）となった

4. 地域別売上高

Moving forward

単位：百万円、%

	25/5 (連結)	26/5 (連結)	増減	同率	構成比
日本	19,262	20,413	1,150	6.0	69.8
韓国	1,142	4,607	3,465	303.4	15.8
中国	2,758	3,518	760	27.5	12.0
台湾	128	238	110	86.2	0.8
その他	476	475	▲0	▲0.2	1.6
合計	23,768	29,254	5,486	23.1	100.0
輸出比率	15.4	16.7			

- 日本向けは、前年同期比6.0%、韓国向けは、同303.4%、中国向けは、同27.5%、台湾向けは、同86.2%の増加となり、全体で23.1%の増加となった
- 輸出比率は16.7%で1.3ポイントの増加

5. 損益計算書

Moving forward

単位：百万円、%

	25/5 (連結)	構成比	26/5 (連結)	26/5		
				増減	同率	構成比
売上高	23,768	100.0	29,254	5,486	23.1	100.0
売上原価	19,642	82.6	24,424	4,782	24.3	83.5
売上総利益	4,125	17.4	4,829	703	17.1	16.5
販管費・一般管理費	2,968	12.5	3,268	299	10.1	11.2
営業利益	1,157	4.9	1,561	404	34.9	5.3
営業外損益	291	1.2	704	413	142.0	2.4
経常利益	1,448	6.1	2,265	817	56.5	7.7
特別損益	968	4.1	-	▲968	▲100	-
税金等調整前当期純利益	2,416	10.2	2,265	▲150	▲6.2	7.7
法人税等	686	2.9	540	▲145	▲21.2	1.8
親会社株主に帰属する当期純利益	1,730	7.3	1,724	▲5	▲0.3	5.9

- 売上高は、次世代燃料船を含む新造船需要の改善、発電プラント等陸用関連需要の増加等により、前年同期比23.1%の増加
- 利益面に関しては、売上高の増加、営業外損益に含まれる不動産賃貸料の増加による影響が大きく、営業利益は前年同期比34.9%、経常利益は同56.5%の増加となったが、親会社株主に帰属する当期純利益は特別損益の計上が無かったことにより同0.3%の減少となった

6. 貸借対照表

Moving forward

単位：百万円

	25/5 (連結)	26/5 (連結)	増減	主要増減要因
流動資産合計	23,192	23,020	▲171	
現金・預金	5,492	4,880	▲611	
売上債権	10,958	10,818	▲140	
棚卸資産	5,420	6,195	774	受注増加に伴う仕入増加
その他	1,320	1,126	▲193	
固定資産合計	13,260	16,716	3,456	
有形固定資産	8,218	9,849	1,631	減価償却 361 のれん償却 30 設備投資 2,306 連結決算による影響額 7
無形固定資産	1,123	1,414	290	
投資その他の資産	3,918	5,451	1,533	投資有価証券 912 退職給付に係る資産 478 関係会社出資金 100
資産合計	36,452	39,736	3,284	
流動負債合計	9,493	8,835	▲657	
仕入債務	4,571	2,731	▲1,840	取適法対応に伴う支払手形および電子記録債務 ▲1,626
その他	4,921	6,103	1,182	短期借入金 800 1年内返済予定の長期借入金 300
固定負債合計	1,502	2,799	1,296	長期借入金 832 繰延税金負債 564 退職給付に係る負債 ▲58 役員退職慰労引当金 ▲45
負債合計	10,995	11,634	638	
純資産合計	25,456	28,102	2,646	
負債・純資産合計	36,452	39,736	3,284	

Ⅲ. 2027年5月期見通し



1. 概要

Moving forward

単位：百万円、%、円

	26/5 (実績)	27/5 (見込み)	前年同期比	
			増減	同率
売上高	29,254	30,000	745	2.5
営業利益	1,561	1,450	▲111	▲7.1
経常利益	2,265	2,100	▲165	▲7.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,724	1,600	▲124	▲7.2
1株当たり当期純利益	494.10	458.35		
1株当たり配当金	110.00	115.00		

- 売上高は30,000百万円の目標
- 利益面については、営業利益1,450百万円、経常利益2,100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,600百万円を見込んでいる

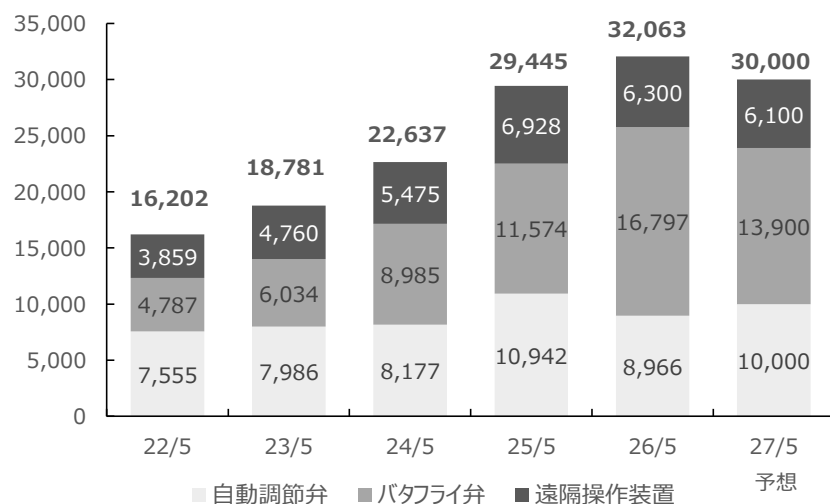
2. 受注・受注残の見通し

Moving forward

- 次世代燃料船を含む新造船需要の改善のなか、船用関連に加え、生成AI需要によるデータセンター建設に伴う電力案件等、発電プラント等陸用関連においても、国内外で積極的な営業活動を行い、顧客ニーズの掘り起こしに努める提案型営業活動を展開し、修理・メンテナンス関連部品も含んだ受注獲得に努めることで、受注高30,000百万円を目指す

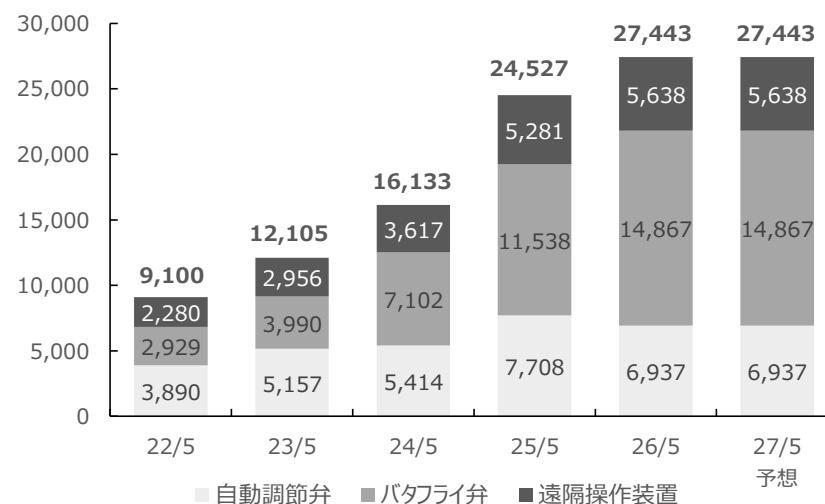
受注高の推移

単位：百万円



受注残の推移

単位：百万円

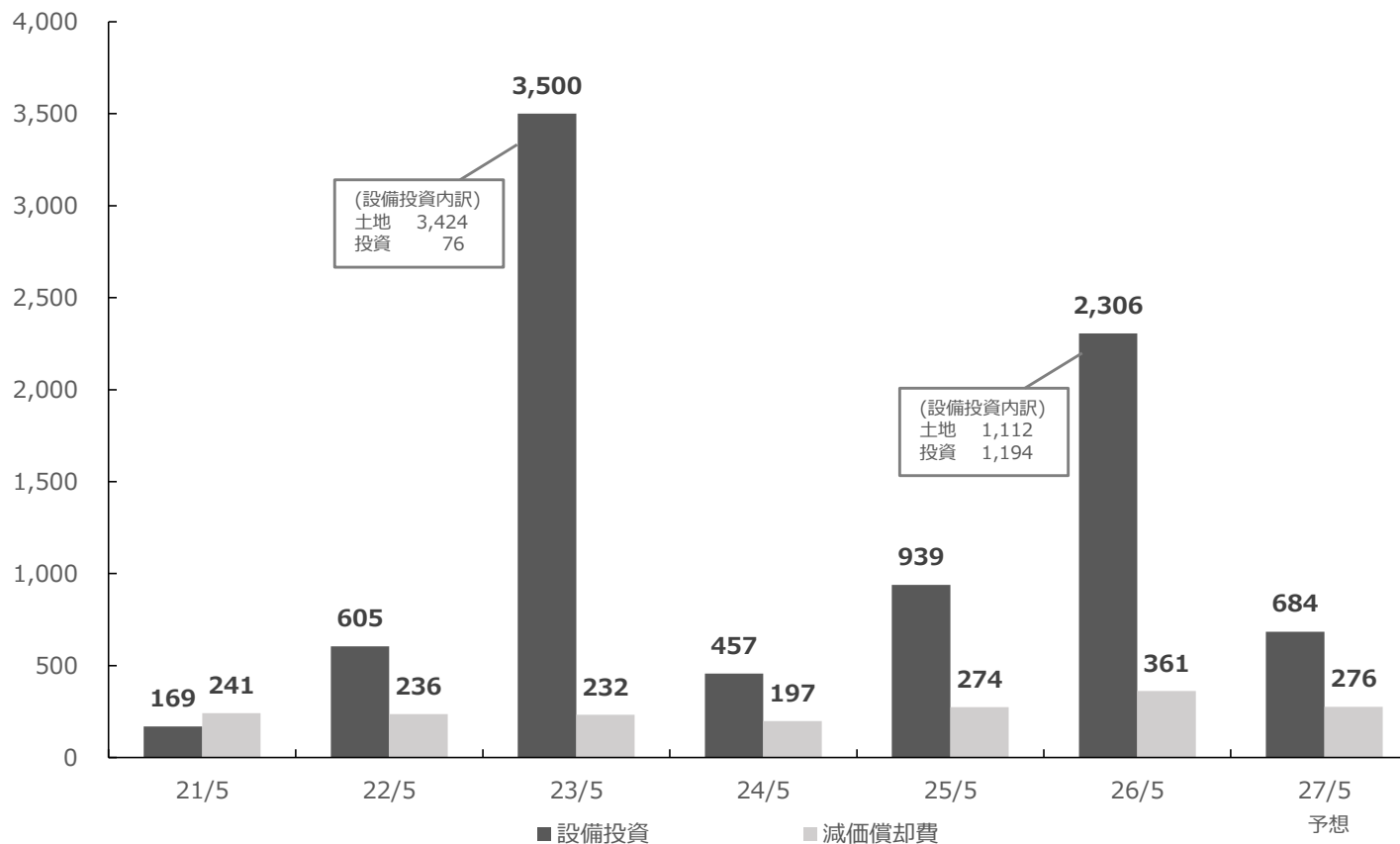


(注) 22/5～24/5の数値は単体決算時における数値
25/5～27/5（予想）の数値は連結決算時における数値

3. 設備投資と減価償却費の見通し

Moving forward

単位：百万円



(注) 21/5～24/5の数値は単体決算時における数値
25/5～27/5 (予想) の数値は連結決算時における数値

IV. 今後の展望



1. 海外市場向けの事業拡大

Moving forward

1. FGE CONTROL PTE. LTD.の株式を取得する株式譲渡契約の締結

- 2026年7月21日付でシンガポールにおいて陸上プラントエンジニアリング及び関連機器の卸売を手掛けるFGE CONTROL PTE. LTD.の株式を取得する株式譲渡契約を締結
- 2026年9月に株式譲渡実行を予定しており、当社の子会社となる予定
- シンガポールに東南アジア拠点を構築し、シンガポールの地理的優位性を生かすことで、船用に加えて陸用においても修理・メンテナンス関連の海外市場向けの事業拡大を目指す



Tuas 拠点

2. 韓国現地法人：NAKAKITA KOREA CO., LTD.の設立（当社の連結子会社）

- 2026年2月23日付で韓国の慶尚南道沿海部の釜山広域市と昌原市の間に位置する都市「金海」にNAKAKITA KOREA CO., LTD.を設立
- 連結子会社であるACE VALVE CO., LTD.との連携強化および韓国での当社ブランド認知度のより一層の向上を目的
- 現時点においては、社内管理規定等の最終調整、サプライチェーン構築・管理段階



立看板

事務棟

工場棟

2. 脱炭素に寄与する製品開発と販売促進

Moving forward

1. 液化水素用高圧グローブバルブ

- 液化水素用高圧グローブバルブの開発が完了し、NK船級を取得。また、市場への販売も達成済
- 2026年3月17日(火)～19日(木)に東京ビッグサイトで開催された、H2 & FC EXPO（水素・燃料電池展）に大規模水素サプライチェーンの構築に不可欠な液化水素用大口径バタフライバルブ・液化水素用高圧グローブバルブに加えてLNG用バタフライバルブ、液化アンモニア用バタフライバルブも展示



写真左：液化水素用大口径バタフライバルブ(800A)
写真右：液化水素用高圧グローブバルブ(65A)

写真左：LNG用バタフライバルブ(200A)
写真右：液化アンモニア用バタフライバルブ(200A)

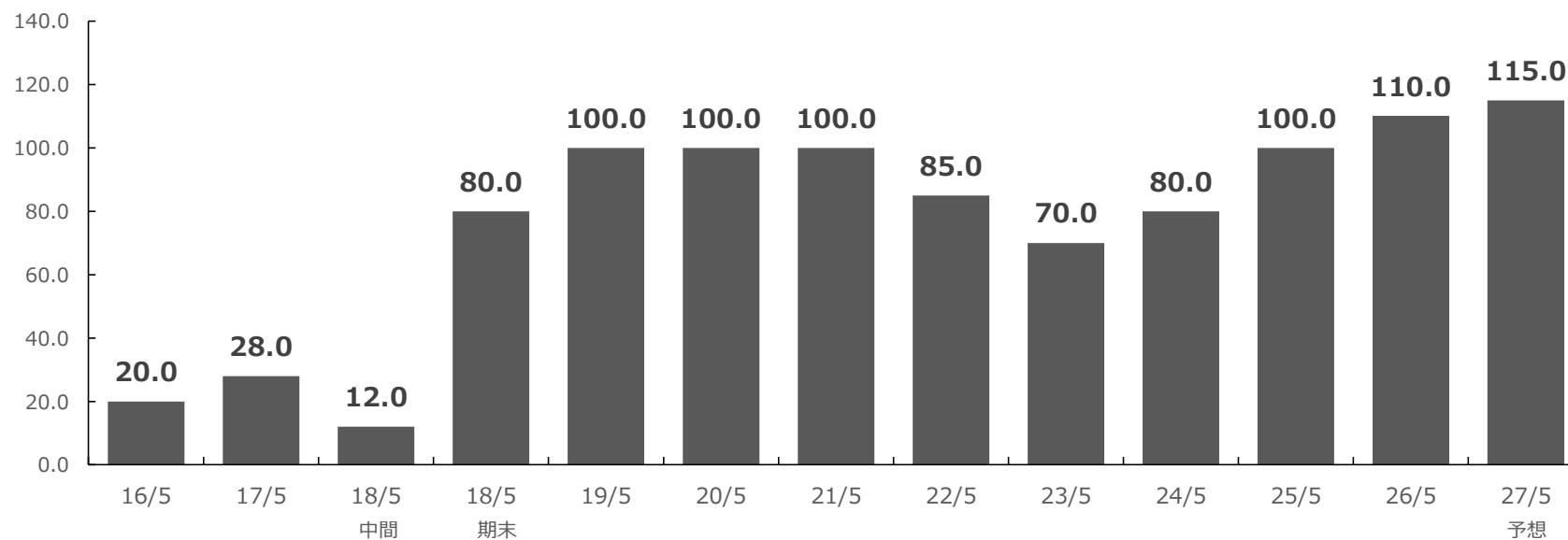
2. 40,000m³型液化水素運搬船（以下、本船）に搭載される液化水素用バタフライバルブの受注を獲得

- 川崎重工業株式会社が建造する、日本水素エネルギー株式会社向け本船へ搭載される液化水素用バタフライバルブの受注を獲得
- 本船は世界初の商用液化水素運搬船であり、液化水素用バタフライバルブは本船が液化水素を輸送するにあたり、貨物の荷役および遮断を行う上で、品質・安全の両面から極めて重要な役割を担う。また、極低温かつ水素環境に適した材料および構造を採用し、高い断熱性とシール性能を考慮した設計とすることで、液化水素の安全性かつ信頼性の高い海上輸送の実現には不可欠な中核機器となる

3. 配当実績・予想

Moving forward

単位：円

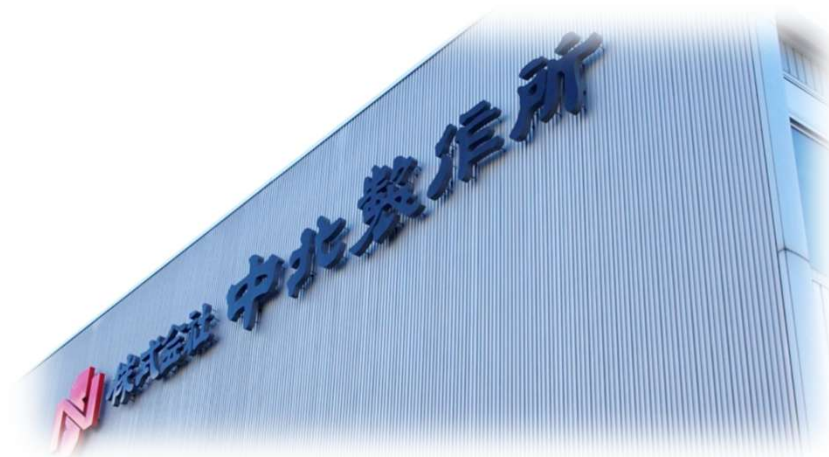


(注) 当社は、2017年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。
18/5期末以後の1株当たり配当金につきましては、当該株式併合後の金額を記載しております。

4. 今後の取組み

Moving forward

1. M&A、協業を含む攻めの投資促進と海外展開の強化
2. 顧客情報管理による提案型営業活動、国内外アフターサービス体制の強化
3. 脱炭素に寄与する製品開発と販売促進、データを活用したコト売り事業の創出
4. DX、マスカスタマイゼーション生産体制の構築による生産性向上
5. 多様な人材の確保および育成、技能伝承



V. コーポレートデータ



単位：百万円、%、円

	22/5	23/5	24/5	25/5	26/5	27/5予想
売上高	17,157	15,777	18,608	23,768	29,254	30,000
営業利益	537	816	1,203	1,157	1,561	1,450
営業利益率	3.1	5.2	6.5	4.9	5.3	4.8
経常利益	808	1,109	1,473	1,448	2,265	2,100
経常利益率	4.7	7.0	7.9	6.1	7.7	7.0
当期純利益/親会社株主に 帰属する当期純利益	556	806	1,020	1,730	1,724	1,600
当期純利益率/親会社株主 に帰属する当期純利益率	3.2	5.1	5.5	7.3	5.9	5.3
総資産	27,846	29,040	31,739	36,452	39,736	
株主資本	21,773	22,329	22,985	24,277	25,635	
株主資本比率	78.2	76.9	72.4	66.6	64.5	
株主資本利益率	2.6	3.6	4.4	7.1	6.7	
1株当たり当期純利益	155.84	225.81	288.54	490.83	494.10	458.35
1株当たり配当金	85.00	70.00	80.00	100.00	110.00	115.00

(注) 22/5～24/5の数値は単体決算時における数値
25/5～27/5（予想）の数値は連結決算時における数値

単位：百万円

陸舶別売上	22/5	23/5	24/5	25/5	26/5	27/5予想
陸用売上	6,703	5,713	6,804	8,302	8,740	9,000
舶用売上	10,454	10,064	11,804	15,465	20,513	21,000
合 計	17,157	15,777	18,608	23,768	29,254	30,000

品種別売上	22/5	23/5	24/5	25/5	26/5	27/5予想
自動調節弁	7,605	6,719	7,920	8,648	9,736	10,000
バタフライ弁	5,507	4,973	5,873	9,854	13,574	13,900
遠隔操作装置	4,044	4,084	4,814	5,264	5,943	6,100
合 計	17,157	15,777	18,608	23,768	29,254	30,000

生産	22/5	23/5	24/5	25/5	26/5	27/5予想
自動調節弁	7,627	6,691	7,983	8,772	9,772	10,000
バタフライ弁	5,247	4,903	5,801	9,584	14,389	13,900
遠隔操作装置	4,026	4,045	4,751	5,345	5,983	6,100
合 計	16,901	15,640	18,536	23,702	30,144	30,000

受注	22/5	23/5	24/5	25/5	26/5	27/5予想
自動調節弁	7,555	7,986	8,177	10,942	8,966	10,000
バタフライ弁	4,787	6,034	8,985	11,574	16,797	13,900
遠隔操作装置	3,859	4,760	5,475	6,928	6,300	6,100
合 計	16,202	18,781	22,637	29,445	32,063	30,000

受注残	22/5	23/5	24/5	25/5	26/5	27/5予想
自動調節弁	3,890	5,157	5,414	7,708	6,937	6,937
バタフライ弁	2,929	3,990	7,102	11,538	14,867	14,867
遠隔操作装置	2,280	2,956	3,617	5,281	5,638	5,638
合 計	9,100	12,105	16,133	24,527	27,443	27,443

(注) 22/5～24/5の数値は単体決算時における数値
25/5～27/5（予想）の数値は連結決算時における数値

本資料は、ご参考のために株式会社中北製作所が独自に作成したものです。

本資料に関する事項について貴社または貴殿が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社または貴殿の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。

本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書およびプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、株式会社中北製作所はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。

また、本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社中北製作所に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

